

「第19回 アビリンピック徳島大会2021」関連記事  
(令和3年9月20日)

【令和3年9月23日 木曜日 徳島新聞朝刊より】

障害者22人が  
職業技能競う 徳島市

障害者が日頃培った職業技能を競い合う「第19回アビリンピック徳島大会2021」（高齢・障害・求職者雇用支援機構徳島支部主催）が20日、徳島市のポリテクセンター徳島と徳島ビルメンテナンス会館の2会場であった。新型コロナウイルス感染症対策として、選手と関係者のみの無観客で行った。

身体、知的、精神の各障害がある16〜65歳の男女22人が出場。パソコンを使って図表の入った和文・英文の文書を作成する「ワード・プロセッサ」、オーダーを受けて商品を提供するなどの接客を行う「喫茶サービス」など6部門で、作業の正確さや速さを競った。

接客に取り組み喫茶サービス部門の出場者（左から2人目）＝徳島市のポリテクセンター徳島



各部門の金賞受賞者は22年に千葉県で開かれる国大会に出場できる。

（青木忍）